



# 一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会 設立記念総会

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会  
Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)  
事務局  
〒980-8633 仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館3F  
TEL:022-395-6312 FAX:022-395-6313 e-mail:office@mmwin.or.jp  
ホームページ: <http://www.mmwin.or.jp/>



# 設立経緯と目的

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会は、2012年6月7日に設立されました。約半年前に任意団体として設立された同名の協議会が前身となりました。英語名Miyagi Medical and Welfare Information Networkを略してMMWIN(エムエムウィン)と呼称しています。以下、MMWINの経緯と目的をまとめます。

## MMWINの設立経緯

- 1) 震災以前から宮城県には、医療分野別のネットワークがありましたが、個別に活動していました。2011年初頃、地域医療再生基金を有効活用し、県地域医療連携支援センター(仮称)案を中心にこれらをまとめていこうという動きがありました。全国的にも医療ICT (Information & Communication Technology)を利用した地域医療連携に関する情報共有を行うための「地域医療福祉情報連絡協議会」が発足したところでした。
- 2) そこに、3.11東日本大震災が発生しました。医療・生活情報という点では、その途絶がいかに重大な問題をもたらすかを経験しました。一方、電子データの遠隔保管(石巻・大船渡)の有用性が証明され、情報復活の途上では既存の人のネットワークが基本になりました。
- 3) 震災以後の課題は、多大な被害をうけた被災地医療機関の早急な復興でした。しかし、単なる復旧でなく、よりよい社会の構築を目指すべきと考えられ、医療福祉分野の復興においてICTネットワークを構築する機運が高まりました。その活動主体の必要性が認識され、数回の準備会議を経て2011年11月15日、まず任意団体MMWINが立ち上がりました。
- 4) ちょうどそのころ、H23年度第三次補正予算が成立し、MMWINの当面の活動として、宮城県の委託を受け総務省・東北地域医療情報連携基盤構築事業(石巻・気仙沼圏)にあたってきました。2月末に事業申請、4月に交付決定をうけ、事業の本格化を前にMMWINを一般社団法人化することになりました。また、厚労省地域医療再生計画においても総務省事業との連携を取って進めています。

## MMWINの目的

地域医療福祉情報共有のための物的・人的連携ネットワーク環境整備を通じて患者中心の診療の実現および医療福祉関係者の環境改善を図り、もって県民・国民にとって豊かな保健医療福祉社会の実現に貢献すること(定款第3条)。



# 任意団体MMWIN（当時）

## 運営委員会

平成23年12月17日現在

会長	社団法人 宮城県医師会 会長	伊 東 潤 造
副会長	社団法人 宮城県医師会 副会長	嘉 数 研 二
副会長	一般社団法人宮城県脳卒中ネットワーク理事長 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野教授	富 永 悌 二
副会長	東北大学大学院医学系研究科長・医学部長	山 本 雅 之
運営委員	宮城県老人保健施設連絡協議会 会長	青 沼 孝 徳
運営委員	社団法人 宮城県看護協会 会長	上 田 笑 子
運営委員	社団法人 宮城県薬剤師会 会長	生 出 泉 太 郎
運営委員	全国自治体病院協議会 宮城県支部長	西 條 茂
運営委員	宮城県保健福祉部次長(技術担当)	佐 々 木 淳
運営委員	宮城県リハビリテーション医会 会長	佐 直 信 彦
運営委員	社団法人 仙台市医師会 会長	永 井 幸 夫
運営委員	社団法人 宮城県歯科医師会 会長	細 谷 仁 憲
運営委員	宮城県病院協会 会長	道 又 勇 一

## アドバイザー

平成23年12月17日現在

日本版EHRタスクフォース主査, 岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学教授	小 倉 真 治
宮城県災害医療コーディネーター, 社団法人宮城県医師会副会長	櫻 井 芳 明
NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会理事, 大村市民病院医療情報企画部長	柴 田 真 吾
地域医療福祉情報連携協議会会長, 東京医科歯科大学大学院疾患生命科学部教授	田 中 博
厚生省政策統括官付社会保障担当参事官室 室長補佐/東北大学大学院医学系研究科客員准教授	中 安 一 幸

## 運営委員会

アドバイザー

システム構築部会

## システム構築部会

平成23年12月17日現在

石巻赤十字病院	救命救急センター長 地域医療連携室副室長	石橋悟
東北大学加齢研	腫瘍内科准教授	加藤俊介
大崎市民病院	腫瘍センター長	蒲生真紀夫
仙台往診クリニック	院長	川島孝一郎
東北大学	メディカルITセンター准教授	國井重男
老人保健施設	グレイスガーデン施設長	小林恒三郎
仙台医療センター	副院長(呼吸器外科)	斉藤泰紀
宮城県薬剤師会	副会長	佐々木孝雄
宮城県医師会	常任理事(総務)	佐藤和宏
広南病院	脳神経外科部長副院長	清水宏明
東北大学	産婦人科講師	菅原準一
宮城大学	看護学部准教授	只浦寛子
宮城大学	事業構想学部教授	富樫敦
宮城県医師会	宮城県地域医療情報センター所長	登米祐也
東北大学	東北大学救急部助教	中川敦寛
東北大学	情報基盤室・メディカルITセンター助教	中村直毅
気仙沼市立病院	脳神経外科医長	成田徳雄
宮城県医師会	常任理事	橋本省
仙台市医師会	理事	樋渡正夫
東北大学	循環器内科准教授	福本義弘
仙台市医師会	理事	松永弦
東北大学	サイバーサイエンスセンター教授	吉澤誠
仙台医療センター	整形外科	吉田秀一
東北厚生年金病院	リハビリ科主任部長	渡邊裕志

オブザーバー: 県医療整備課 東北総合通信局



# 任意団体MMWIN当時の活動内容

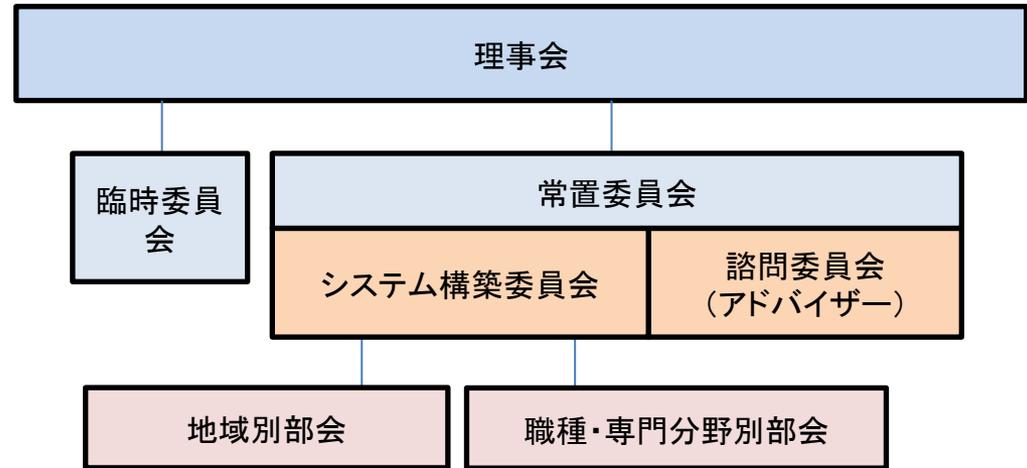
(敬称略)		活動		行政(県・国)	
直前の活動		2011.7.21 地域医療福祉情報連絡協議会第二回シンポジウム(東京 田中博会長)「震災復興に地域医療ITは何ができるのか」 2011.7.22 宮城県医療情報ネットワーク(仮)運営会議(長陵会館) 7.28/8.3 宮城県医療情報ネットワーク協議会(仮)システム検討WG①・②(県庁) 2011.8.29「震災復興と医療ICTネットワーク講演会」—特別講演「地域医療連携と震災復興後の医療IT体制」 田中博 2011.10.3)システム検討WG③(県庁) 10.14宮城県医療福祉情報ネットワーク講演会(県医師会,柴田真吾他)			
		協議会全体	システム構築部会	県	国
平成 23 年度	11月	15日 任意団体設立総会	17日部会:ガイドライン勉強会、要件定義検討依頼(中安一幸) 26日部会:ICT標準化・SS-MIX・企業製品等勉強会(田中博他) ○システム構築案の検討:共有情報内容・手段 NW化基幹・施設		第三次補正予算成立
	12月	○コンサル会社検討 17日 全体会議:ネットワーク全体像の検討	5日部会:要件定義・ネットワーク全体のイメージ案作成 6日講演会「救急災害医療の全体最適化」(小倉真治) 13日部会:ネットワーク全体像と優先順位、維持費用について	財源の色分け作業(総務省・厚労省予算)	
	1月	23日 全体会議 同右承認	5日部会:石巻・気仙沼両圏案とネットワーク全体像について承認 16日部会:石巻・気仙沼圏の事業の詳細検討 30日ネットワーク概要説明会(ベンダー向け)		
	2月	3日 仕様概要書作成:総務省予算申請用見積 29日 総務省補助金申請申請書の修正	17日 石巻関係者との意見調整 28日 気仙沼関係者との意見調整 両圏をつなぐ後方支援部分にバックアップサーバー、ICカード管理システム、処方情報システム、遠隔会議 24日被災地医療連携講演会(志津川) 28日 気仙沼市医師会訪問 29日部会および遠隔会議システム勉強会	○県議会2月定例会予算計上 29日総務省補助金申請〆切	厚労省第三次補正概要申請
	3月	○法人化準備:定款案、設立時役員・社員、必要書類準備 申請書修正	○病院・診療所・在宅・介護施設等、具体的な場面での運用方法の検討 ○対象企業製品の勉強会○運用面(参加施設決定、維持費見積など)の検討作業 29日部会:石巻・気仙沼圏の事業の詳細検討、事務局体制		
平成 24 年度	4月	13日:総務省H23三次補正予算交付決定 27日:総務省H24予算申請(仙台圏)	13日部会:ユースケース検討・仙台圏事業計画・法人組織案など 19日:気仙沼ヘルスケア・ネットワーク・オフィス(HNO)キックオフミーティング・全体説明会 26日 石巻市・保健所等訪問	○4/13総務省H23三次補正予算交付決定 ○4/27総務省H24予算申請(仙台圏)	
	5月	○事務局職員雇用	22日気仙沼市立病院打ち合わせ 23日石巻全体説明会		
	6月	5日:全参加施設への案内送付 7日:システム構築部会、一般社団法人設立 29日:法人設立時システム構築委員会、参加申込締め切り 約50施設参加(再募集は後日検討) ○末-7月 仕様書完成、公示から入札へ			



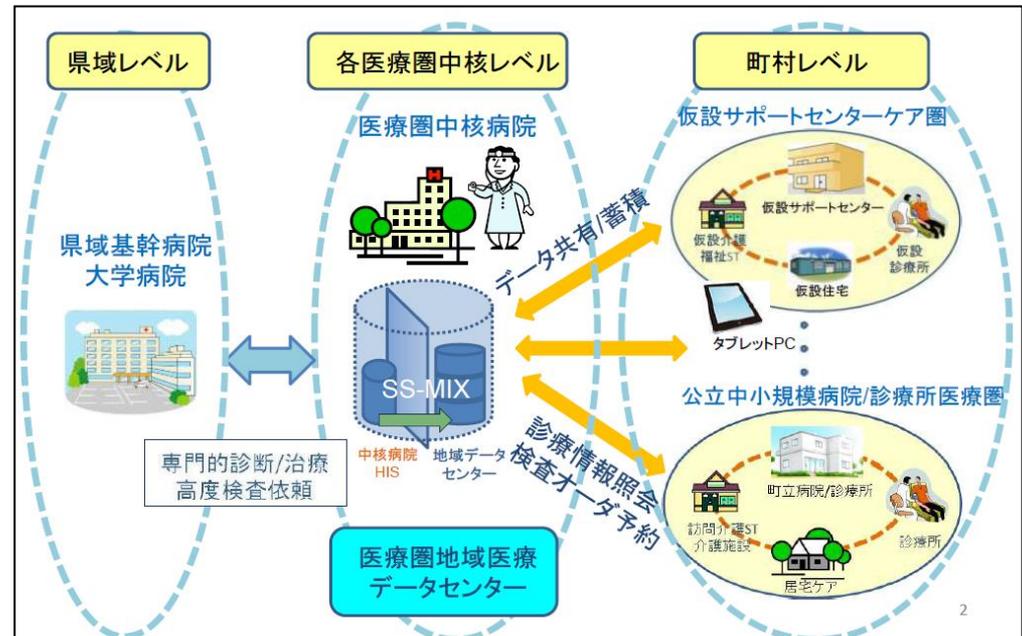
# 一般社団法人MMWIN

## 定款(抜粋)

- ・主たる事務所を仙台市青葉区に置く。
- ・この法人は、地域医療福祉情報共有のための物的・人的連携ネットワーク環境整備を通じて患者中心の診療の実現および医療福祉関係者の環境改善を図り、もって県民・国民にとって豊かな保健医療福祉社会の実現に貢献することを目的とする。
- ・医療福祉情報の電子化・共有を促進する事業等を行う
- ・正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。正会員:この法人の目的に賛同して入会した医療福祉施設(病院・診療所・薬局・老健・介護サービス)を運営する団体またはそこに所属する個人
- ・社員総会は、正社員をもって構成する。
- ・この法人に次の役員を置く。
  - (1)理事 7人以上15人以内 うち1人を理事長として選定
  - (2)監事 1人以上3人以内
- ・理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。役員 の選任に関する細則は別に定める。
- ・この法人に、理事会を置く。
- ・この法人の会務を円滑に実施するため、各種委員会を設置する。委員会内容及び職務は、委員会設置に関する細則で定める。



## MMWINが目指すネットワークのイメージ





# 一般社団法人MMWIN

## 役員

理事長	社団法人宮城県医師会 会長	嘉数研二
理事	宮城県老人保健施設連絡協議会 会長	青沼孝徳
理事	社団法人宮城県看護協会 会長	上田笑子
理事	全国自治体病院協議会 宮城県支部長	亀山元信
理事	社団法人宮城県薬剤師会 会長	佐々木孝雄
理事	社団法人宮城県医師会 副会長	佐藤和宏
理事	東北大学病院長	下瀬川徹
理事	東北大学メディカルメガバンク 医療情報ICT部門長	富永悌二
理事	社団法人宮城県歯科医師会 会長	細谷仁憲
理事	宮城県病院協会 会長	道又勇一
監事	宮城県立がんセンター 総長	西條 茂
監事	社団法人仙台市医師会 会長	永井幸夫

## 諮問委員会(アドバイザー)

日本版EHRタスクフォース主査, 岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学教授	小倉真治
宮城県災害医療コーディネーター, 社団法人宮城県医師会副会長	櫻井芳明
NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会理事, 大村市民病院医療情報企画部長	柴田真吾
地域医療福祉情報連携協議会会長, 東京医科歯科大学大学院疾患生命科学部教授	田中 博
厚労省政策統括官付社会保障担当参事官室 室長補佐	中安一幸

## システム構築委員会:案

今後、設立時まとめ役を中心に部会を構成し、その代表によりシステム構築委員会を構成する予定

区分け	分野別部会名称	設立時まとめ役	
医療圏	気仙沼医療圏部会	成田徳雄 気仙沼市立病院脳神経外科	
	石巻医療圏部会	石橋悟 石巻赤十字病院地域医療連携室副室長 三浦尚人 石巻市医師会理事	
	仙台医療圏部会	樋渡正夫 仙台市医師会理事 田中伸幸 宮城県立がんセンター研究所部長	
	県北拡大医療圏部会 (大崎+栗原+登米)	蒲生真紀夫 大崎市民病院腫瘍センター長	
	県南医療圏部会	内藤広郎 県南中核病院院長	
	職能・専門領域	医師部会	橋本省 県医師会常任理事 斉藤泰紀 仙台医療センター副院長
		看護部会	只浦寛子 宮城大学看護学部准教授 富田きよ子 東北福祉大学総合福祉学部准教授
周産期・助産師部会		松永弦 仙台市医師会理事 後藤美子 県助産師会会長	
薬剤部会		瀬戸裕一 県薬剤師会副会長 眞野成康 県病院薬剤師会会長	
歯科医師部会		細谷仁憲 県歯科医師会会長	
介護施設部会		小林恒三郎 介護老健グレイスガーデン施設長 浅野孝典 涌谷町町民医療福祉センター	
在宅介護支援部会		川島孝一郎 仙台往診クリニック 伊藤久美子 県訪問看護ステーション連絡協議会 三上雅嗣 宮城県ケアマネジャー協会会長 作間宏教 MMWIN事務局	
メディカルメガバンク部会		中谷純 東北メディカルメガバンク教授 國井重男 東北大学MICT特任教授 中村直毅 東北大学情報基盤室	
ユースケース検討部会		吉田秀一 東北厚生年金病院整形外科 富樫敦 宮城大学事業構想学部教授	
連携パスデータベース部会		清水宏明 MMWIN事務局・広南病院副院長	
オブザーバー: 県医療整備課・東北総合通信局・県医師会館1階健康センター 箱崎			

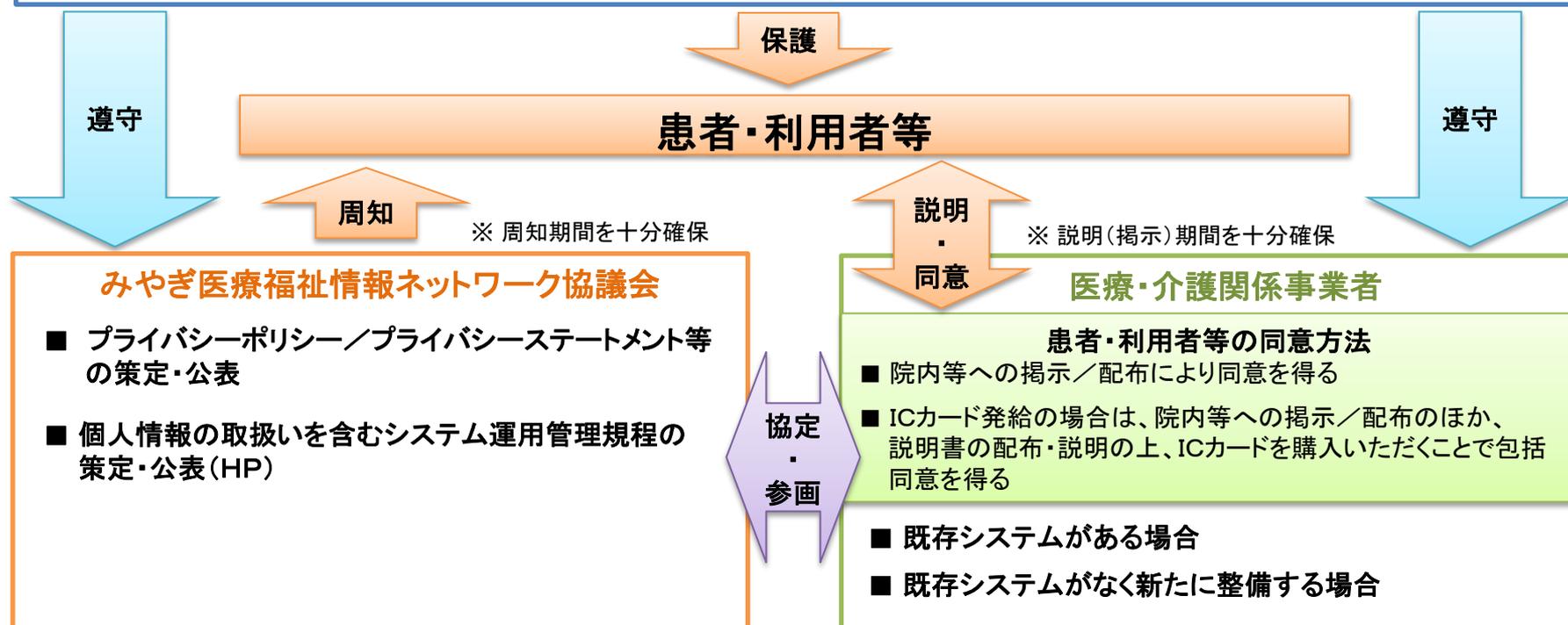


# セキュリティについて

当事業では、患者・利用者の個人情報ネットワークで共有することになりますので、情報セキュリティには細心の注意を払っています。関係法令の遵守はもちろんのこと、法令以上の基準を設定し、個人情報保護を図ります。

## 関係法令を遵守した安全管理

- 個人情報の保護に関する法律【平成15年5月21日法律第57号(平成21年6月5日最終改正)】
- 個人情報の保護に関する法律施行令【平成15年12月10日政令第507号(平成20年5月1日最終改正)】
- 個人情報の保護に関する基本方針【平成16年4月2日閣議決定(平成21年9月1日最終改正)】
- 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン【平成16年12月24日厚生労働省(平成22年9月17日最終改正)】
- 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン【平成17年3月厚生労働省(平成22年2月最終改正Ver.4.1)】





# 一般社団法人MMWINの活動内容と予定

- ・ 2012.6.7 法人設立
- ・ 6.11 理事会・臨時社員総会
- 石巻・気仙沼圏事業内容と予定:
  - 2012.6.22/29 入札公告 7.9 入札説明会 7月中入札 8月開札・契約 直ちに設計・構築へ
  - 2013.2-3月 テストを経て稼働

## 医療福祉情報ネットワーク構築で何が変わるか

- ・ 災害時:
  - データの二重保存で局所的損壊からの復活がすみやか
  - 最低限のデータをカードなどで携行可能
  - ID連携によりデータ紐付がすみやか
- ・ 平常時: セキュリティ・患者同意の許す範囲で
  - いつでもどこからでも情報閲覧: 病院・診療所・在宅医療・介護
  - 病歴・検査・介護データなどの地域内共有で診療の透明性向上・医療レベル向上
  - 二重検査・投薬などの回避
  - 薬剤副作用・アレルギーなどの患者リスク情報把握が容易・正確
  - データの連携・共有により書類作業が減少、本来の診療・看護・介護へ回帰
  - 遠隔カンファレンス・面談等による直接的な利便性
  - 自治体として地域医療の向上・住民福祉向上、地域医療データ把握と施策立案
  - 患者からみて一貫した医療・介護がもたらす”安心・満足感”



# 東北地域医療情報連携基盤構築事業の目的

## 震災前からの課題

医師、医療資源の不足  
高齢化  
高速交通網の立ち遅れ

## 震災によって 顕在化した課題

医療情報の喪失 → 医療実施不能

中核病院と他病院/診療所との医療情報連携構築

介護・在宅医療・生活支援を推進

医療情報の電子化・バックアップ体制の確立

## 災害に強い役に立つ地域医療情報連携基盤

医療

医療従事者の  
負担を軽減

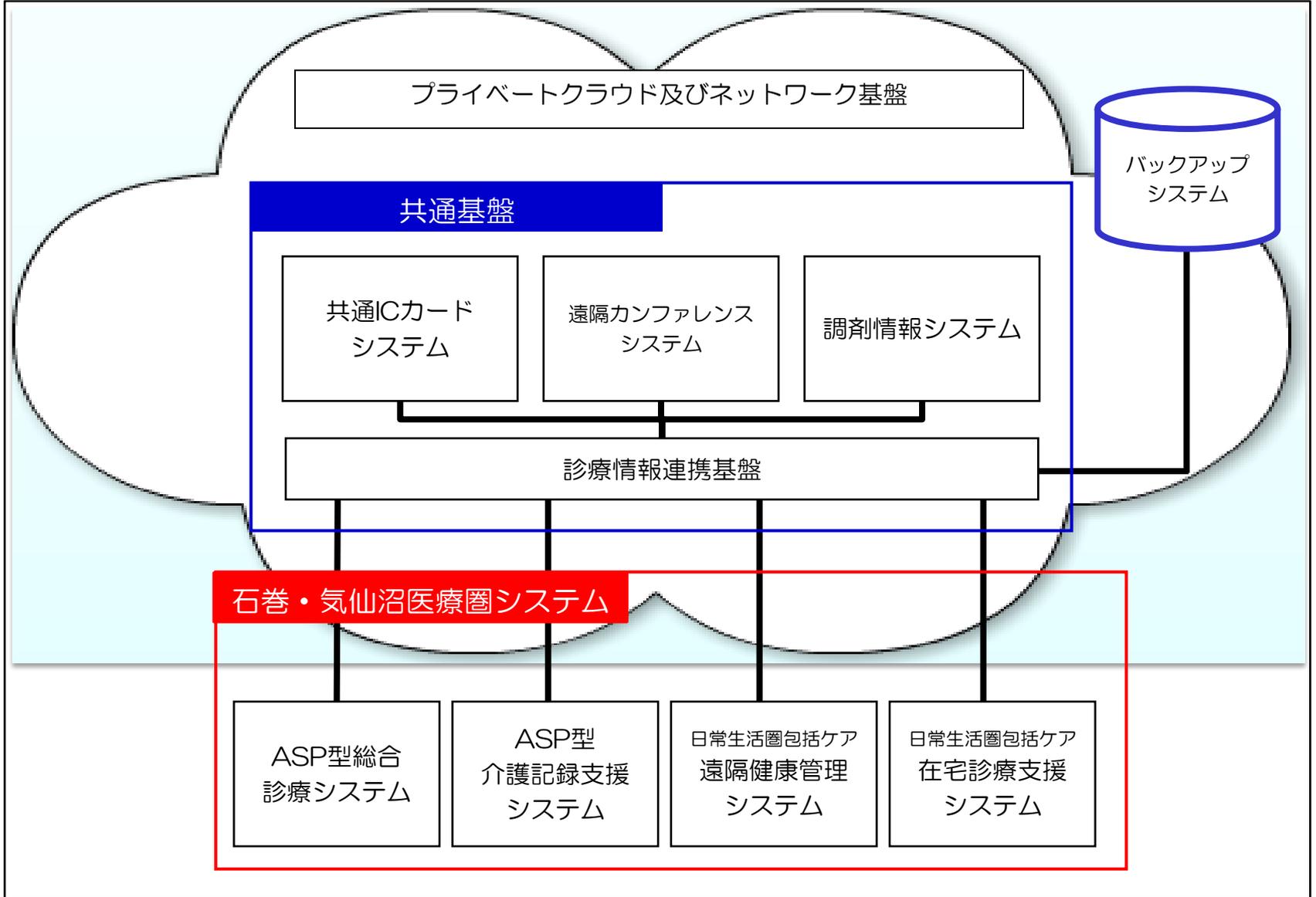
介護

福祉

被災地域の患者  
家族の安心



# システム全体概要図

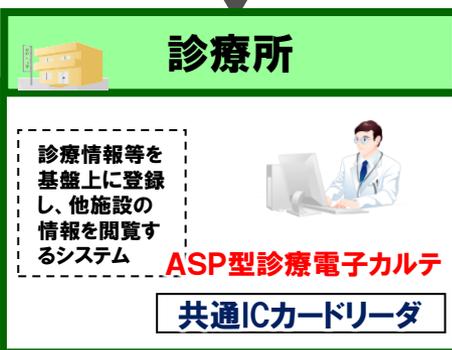
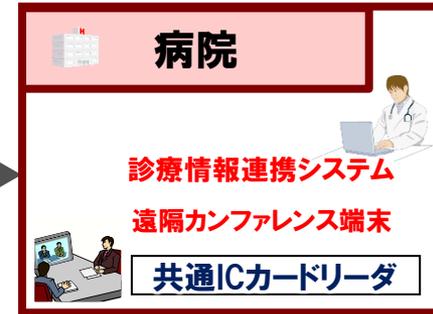
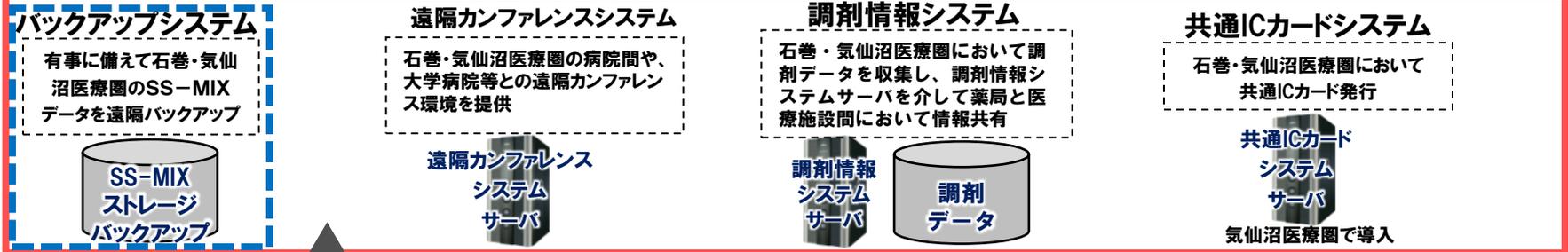




# システム構成一覽

システム名		概要
プライベートクラウド及びネットワーク基盤		コンピュータリソースの有効活用、セキュリティの担保、ネットワークの一元管理を実現するための、プライベートクラウド環境とネットワーク基盤。
共通基盤	共通ICカードシステム	石巻・気仙沼医療圏における健康共通IDによる医療福祉情報ネットワーク基盤を利用するための共通ICカードシステム。
	遠隔カンファレンスシステム	医師の間で医療相談等の遠隔カンファレンスを行うシステム。
	調剤情報システム	調剤薬局の調剤データを収集・共有するシステム。
石巻・ 気仙沼医療圏 システム	診療情報連携基盤	ID連携・認証（SAML2.0）、情報流通（ID-WSF）等の連携機能およびファイアウォール等のネットワーク機能を提供する共通基盤。各施設の診療情報、介護情報、調剤情報、日常生活圏情報を統合して共有する。
	ASP型診療電子カルテ	診療録の電子化、データセンタへのバックアップ機能、医療福祉情報連携基盤へのデータ出力機能等を有する診療所向けの電子カルテシステム。母子周産期管理システム機能を持つ。
	ASP型介護電子カルテ	介護録の電子化およびデータセンタへのバックアップ機能、医療福祉情報連携基盤へのデータ出力機能等を有する介護施設向けの電子カルテシステム。
	日常生活圏包括ケア （遠隔健康管理システム）	集会所等で計測した健康医療状態の収集・共有、更に生活圏におけるコミュニケーション形成を支援するコミュニケーションシステム
	日常生活圏包括ケア （在宅診療支援システム）	往診時のバイタル情報、メモ等を収集・共有する在宅診療支援システム ケアを支援するコミュニケーションシステム
バックアップシステム		SS-MIX2データを遠隔地のデータセンタに複製保管するシステム

## 石巻・気仙沼医療圏の連携および共通部分



## 石巻・気仙沼医療圏の連携および共通部分

### バックアップシステム

有事に備えて石巻・気仙沼医療圏のSS-MIXデータを遠隔バックアップ



### 遠隔カンファレンスシステム

石巻・気仙沼医療圏の病院間や、大学病院等との遠隔カンファレンス環境を提供



石巻医療圏で導入

### 調剤情報システム

石巻・気仙沼医療圏において調剤データを調剤情報システムサーバを介して薬局と医療施設間において情報共有



石巻医療圏で導入

### 共通ICカードシステム

石巻・気仙沼医療圏において共通ICカード発行



## 気仙沼医療圏

### ID連携機能

各医療機関間で異なる患者IDを紐付けする機能

### 認証機能

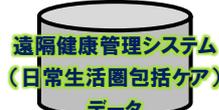
HPKIを利用して、利用者認証を行う機能

### アクセス制御機能

参照可能な患者情報・情報項目の権限のチェックを行う機能

### 運用管理機能

診療データ管理、ログ管理などの運用を管理する機能



## 診療情報連携基盤

### 病院



遠隔カンファレンス端末  
診療情報連携システム

共通ICカードリーダ

### 日常生活圏(デイケア・訪問看護・集会所等)



血圧・血中酸素飽和度などの日々の健康情報を基盤に登録し閲覧したり、健康相談をおこなうシステム

遠隔健康管理システム (日常生活圏包括ケア)

### 診療所



診療情報等を基盤に登録し、他施設の情報を見ることができるシステム

ASP型診療電子カルテ  
共通ICカードリーダ

### 介護施設



介護情報等を基盤に登録し、他施設の情報を見ることができるシステム

ASP型介護電子カルテ

### 薬局



調剤情報などを基盤に登録し、他施設の情報を見ることができるシステム

調剤情報システム



## 仙台・石巻・気仙沼医療圏の連携および共通部分

